



毎日、発明する会社

2019年4月期

第3四半期 決算説明資料

フリービット株式会社

2019年3月8日

1. 2019年4月期 第3四半期 連結業績 . . . 3
2. 2019年4月期 第3四半期期 セグメント別業績及び事業進捗 . . . 18
3. 2019年4月期 連結業績進捗 . . . 35

## 資料内略称について

略称	社名及び説明
FB	フリービット(株)=当社
FBG	フリービットグループ
ALC	(株)アルク=完全子会社
DTI	(株)ドリーム・トレイン・インターネット=完全子会社
FBEPH	(株)フリービットEPARKヘルスケア=子会社
FBI	フリービットインベストメント(株)=完全子会社
IJK	(株)医療情報基盤=完全子会社
TM	トーンモバイル(株)=持分法適用関連会社
FS	(株)フルスピード=東証二部上場の子会社
FSG	フルスピードグループ
FI	(株)フォーイト=(株)フルスピードの完全子会社
CR	(株)クライド=(株)フルスピードの完全子会社
GP	(株)ギガプライズ=名証セントレックス上場の子会社
GPG	ギガプライズグループ
FM	(株)フォーメンバース=(株)ギガプライズの子会社

略称	セグメント名
BB	ブロードバンド事業
MB	モバイル事業
AT	アドテクノロジー事業
CL	クラウド事業
HT	ヘルステック事業
ET	エドテック事業
ETC	その他

# 1. 2019年4月期 第3四半期 連結業績

---

(単位：百万円)	19年04期 第3四半期	18年04期 第3四半期	増減額	増減率
売上高	<b>34,118</b>	28,854	+5,264	+18.2%
EBITDA	<b>2,750</b>	2,005	+745	+37.2%
営業利益	<b>1,628</b>	966	+662	+68.5%
経常利益	<b>1,294</b>	516	+777	+150.7%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	△23	△724	+701	—
1株当たり純利益	△1円06銭	△32円65銭	+31円59銭	—

**2019年4月期第3四半期連結業績は、前年同期比で売上高18.2%増  
マンションインターネットの売上増及びモバイル事業の利益率改善により営業利益68.5%増**

- ・売上高：マンションインターネット及びヘルステック事業の拡大に加えエドテック事業開始により増収
- ・営業利益：売上増要因に加え、モバイル事業の利益率改善により前年同期比68.5%増
- ・経常利益：営業利益増及び持分法による投資損失減少により前年同期比150.7%増
- ・親会社株主に帰属する四半期純利益：経常利益増等により前年同期比701百万円増



## 連結業績

- ・売上高は、マンションインターネット及びヘルステック事業の順調な推移に加え、当四半期においてALC子会社化によるエドテック事業開始により、前年同期比18.2%増を達成
- ・前四半期に引き続き過去最高の四半期売上高を更新
- ・営業利益は、マンションインターネット等の拡大やモバイル事業の利益率改善により前年同期比68.5%増を達成



## ブロードバンド事業

- ・マンションインターネットは引き続き拡大
- ・既存固定網サービス減少等により減益



## ヘルステック事業

- ・FBEPHの成長により売上高は前年同期比107.2%増を達成



## エドテック事業

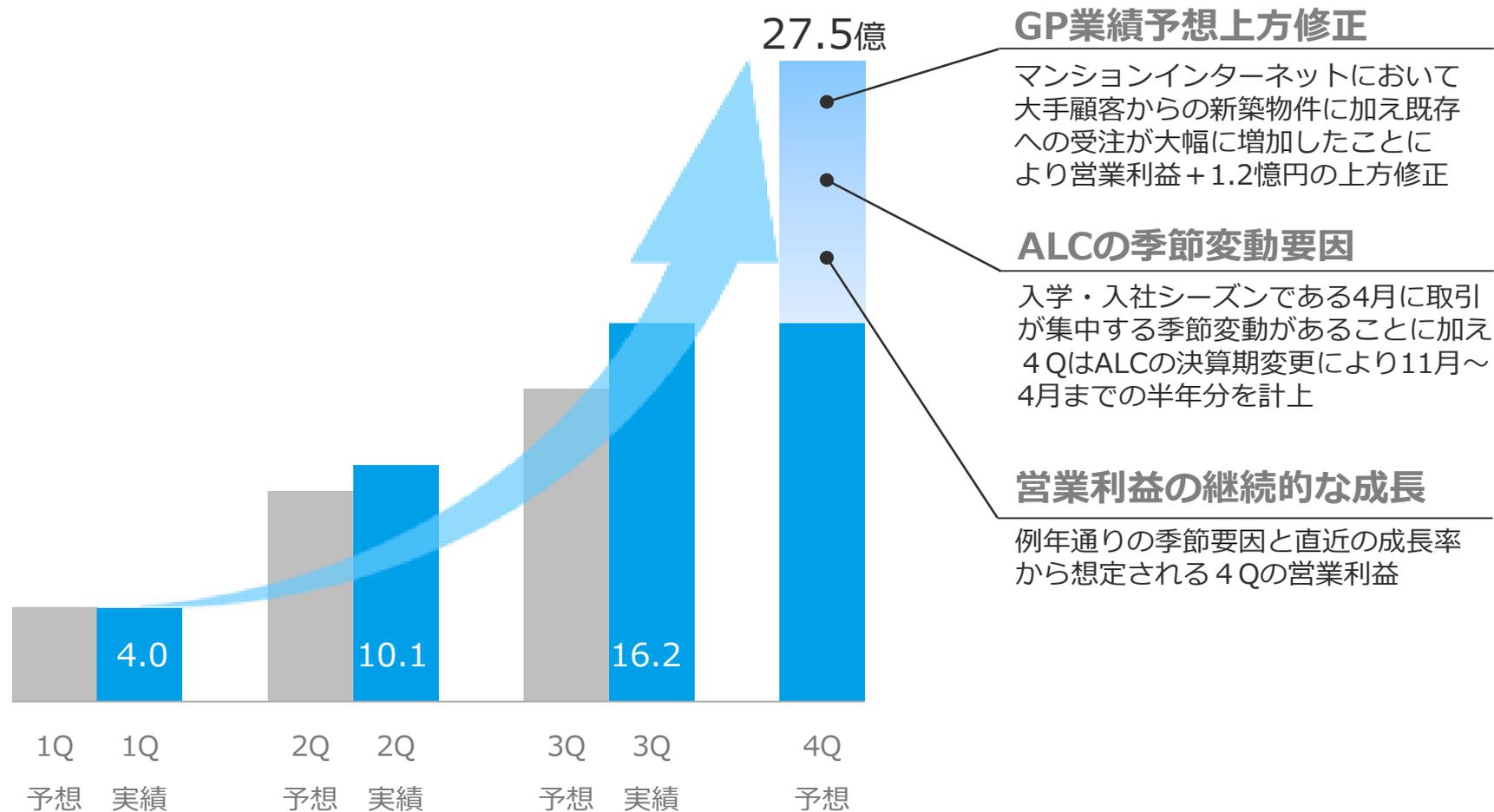
- ・当第3四半期よりALCのPLを連結。新報告セグメント『エドテック事業』として売上・利益共に貢献。グループシナジーにより、更なる事業規模の拡大を目指す



- ・FSGが業績予想の修正を行うもFBG連結としては順調に推移しているため、業績予想の修正は無し

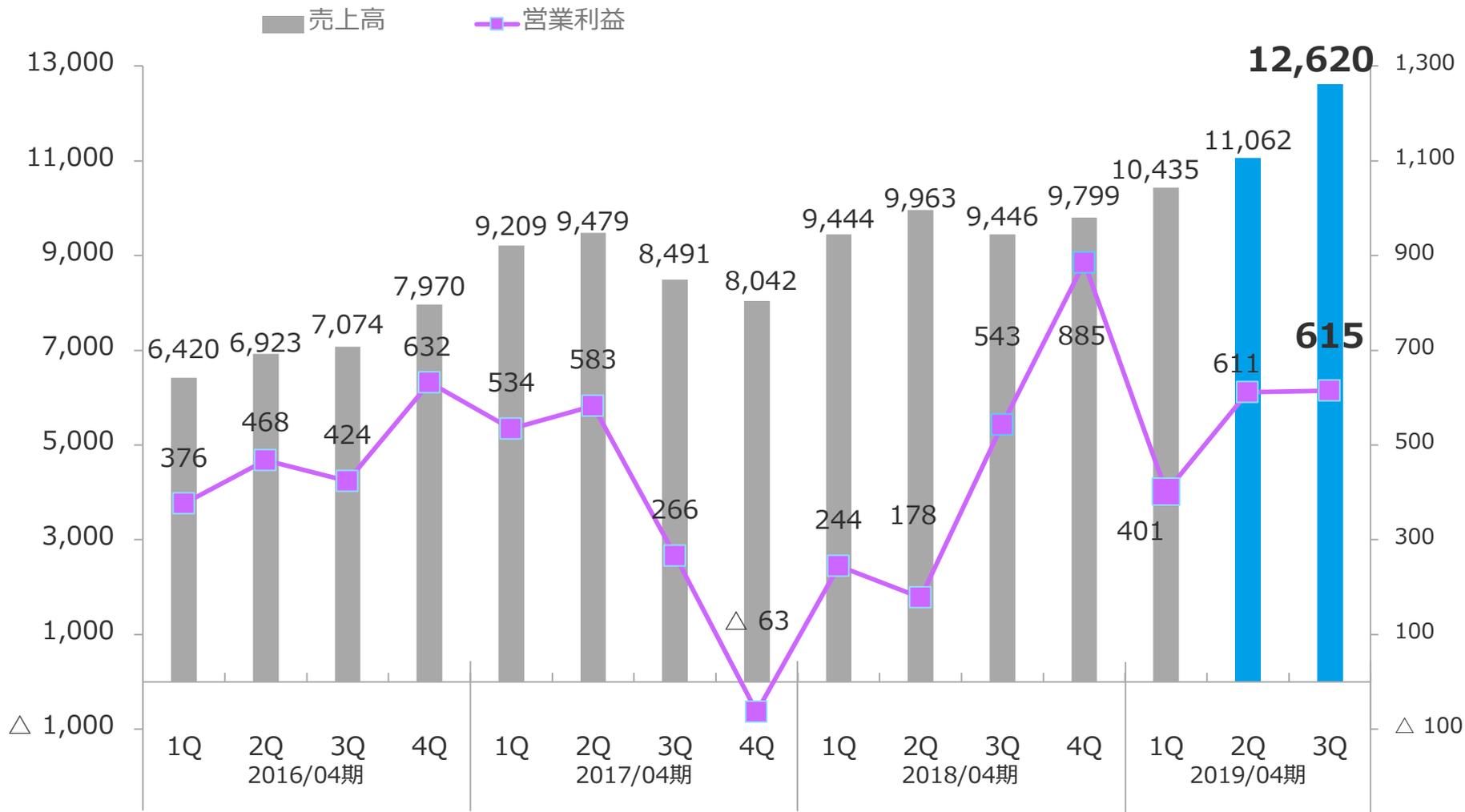
## 下記要因により計画通り通期営業利益27.5億達成を見込む

2019年4月期 営業利益の推移と見通し

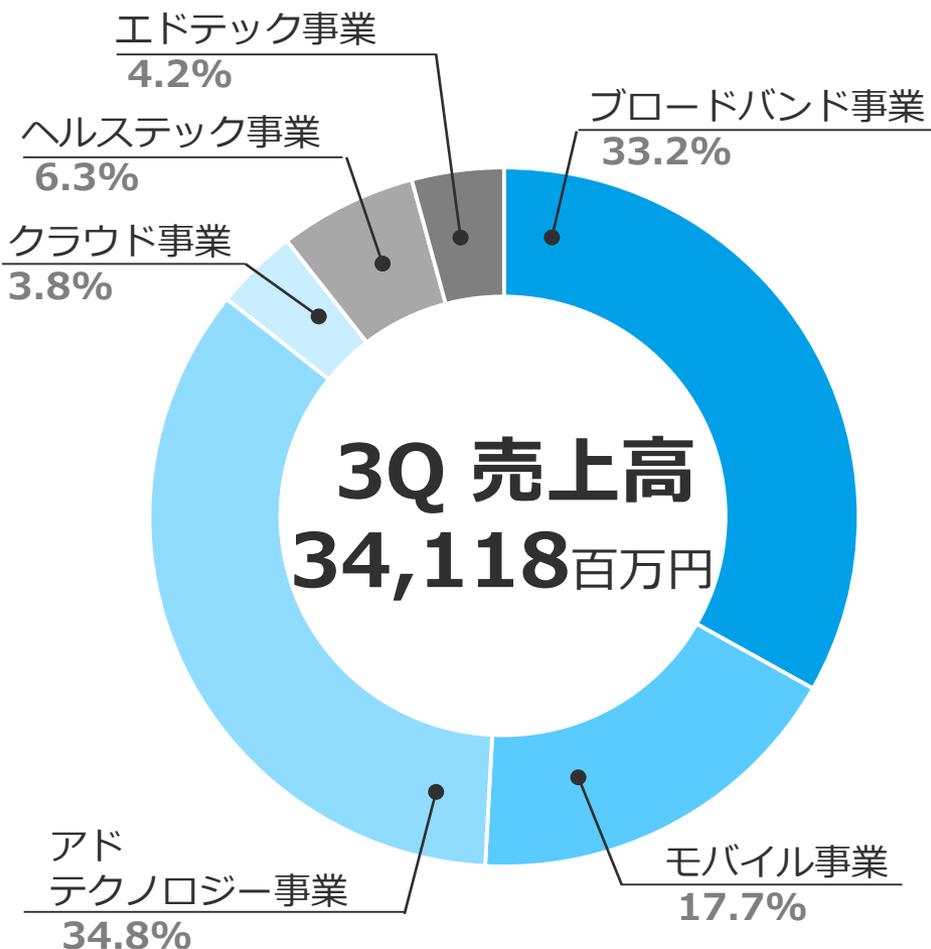


## 売上高は3四半期連続して過去最高の四半期売上高を更新

(単位：百万円)



## ブロードバンド事業・ヘルステック事業が増収を牽引

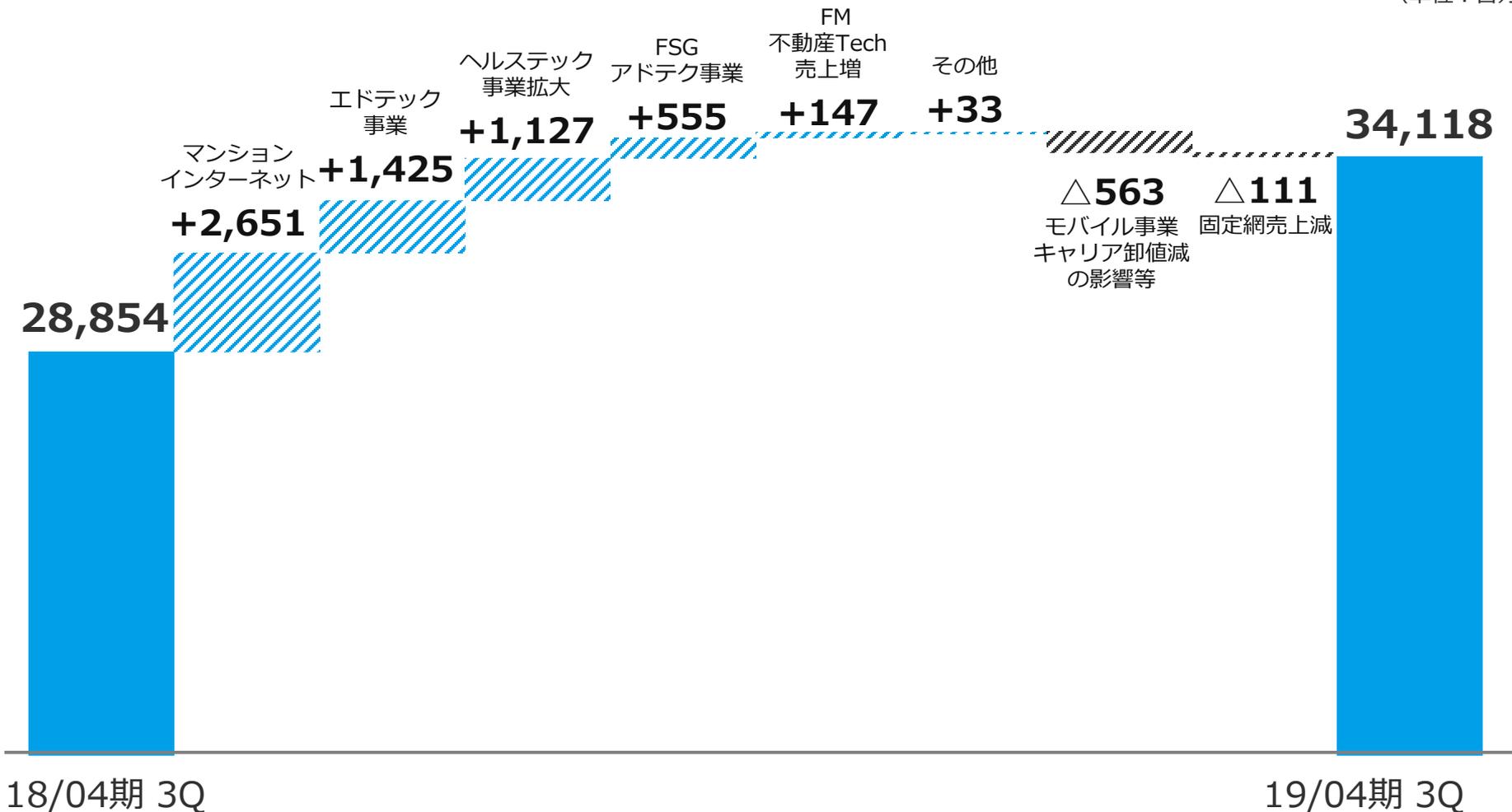


売上高	セグメント損益
<b>ブロードバンド事業</b>	
11,397 百万円 YoY +29.0%	1,174 百万円 YoY $\Delta$ 18.5%
<b>モバイル事業</b>	
6,069 百万円 YoY $\Delta$ 5.2%	35 百万円 YoY +454百万円
<b>アドテクノロジー事業</b>	
11,968 百万円 YoY +5.0%	829 百万円 YoY $\Delta$ 17.9%
<b>クラウド事業</b>	
1,295 百万円 YoY $\Delta$ 2.8%	$\Delta$ 50 百万円 YoY $\Delta$ 47百万円
<b>ヘルステック事業</b>	
2,179 百万円 YoY +107.2%	$\Delta$ 93 百万円 YoY +418百万円
<b>エドテック事業</b>	
1,425 百万円	33 百万円

※エドテック事業については、事業開始が当第3四半期のため、前年同期（累計）との比較は省略

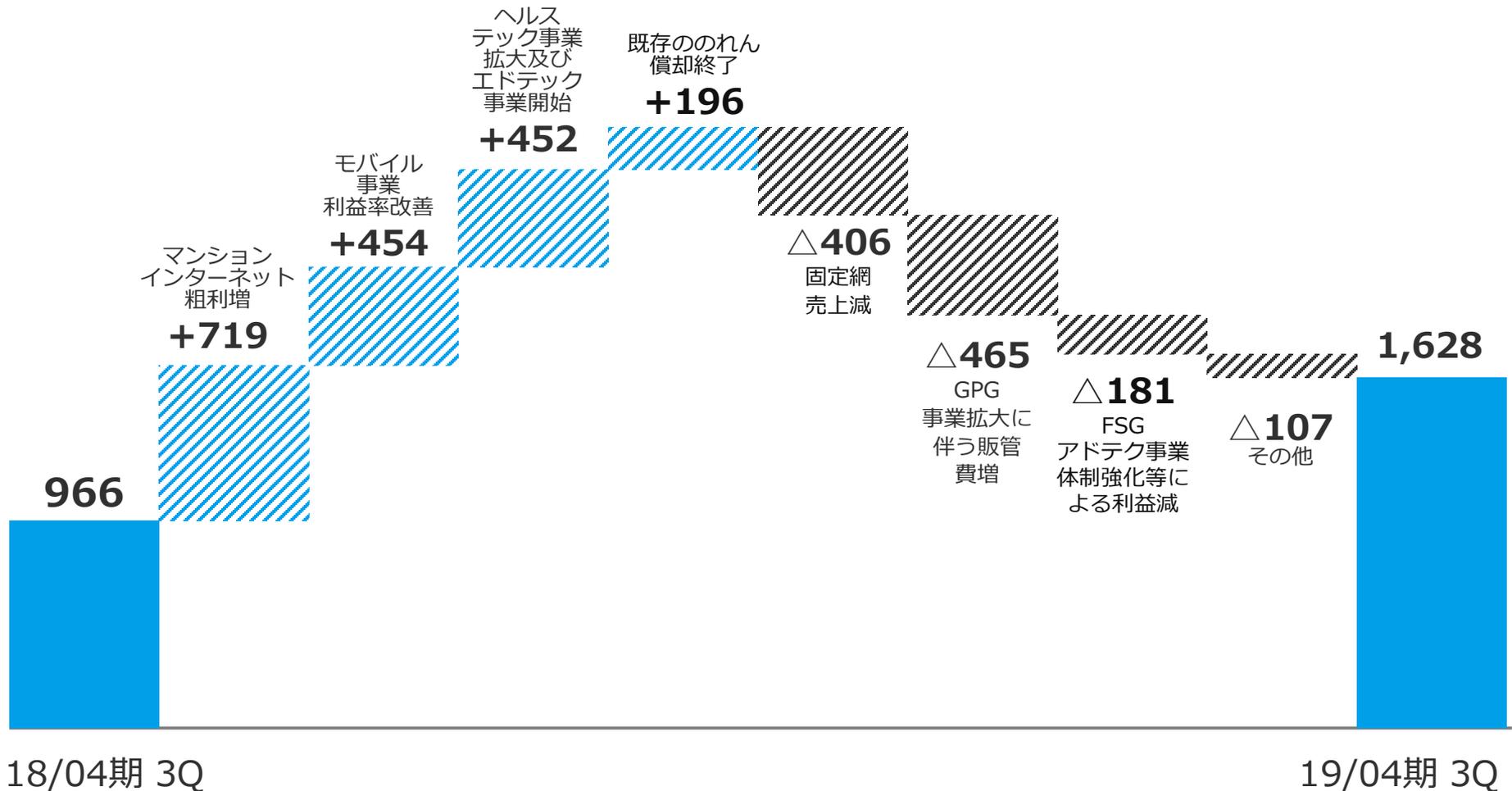
マンションインターネット及びヘルステック事業の順調な推移に加え  
エドテック事業開始に伴う売上増により前年同期比18.2%増

(単位：百万円)



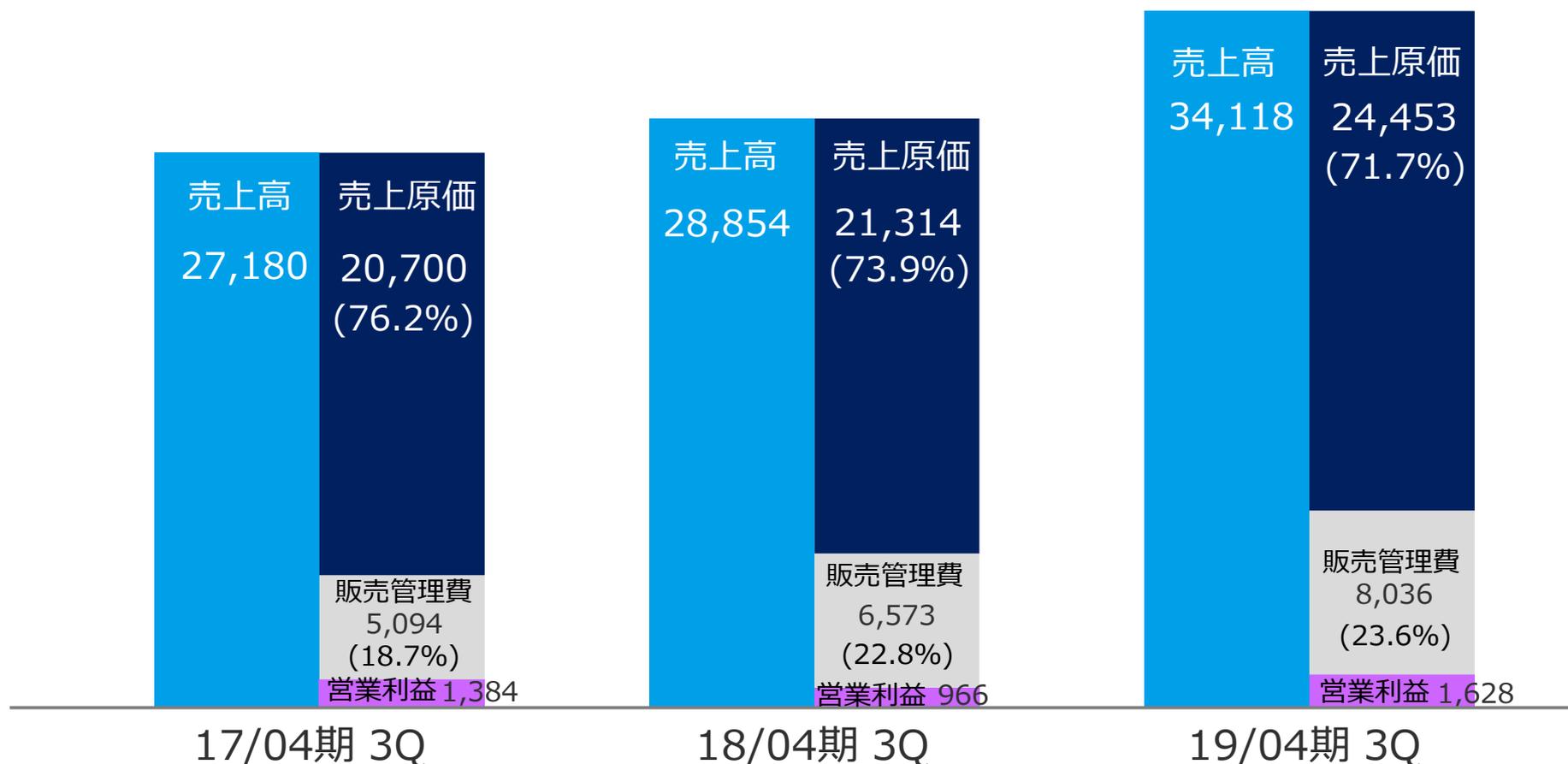
## マンションインターネットの売上増に伴う粗利増及びモバイル事業の利益率改善により前年同期比68.5%増

(単位：百万円)



## 2020年4月期連結営業利益50億を目指し投資を継続中

(単位：百万円)



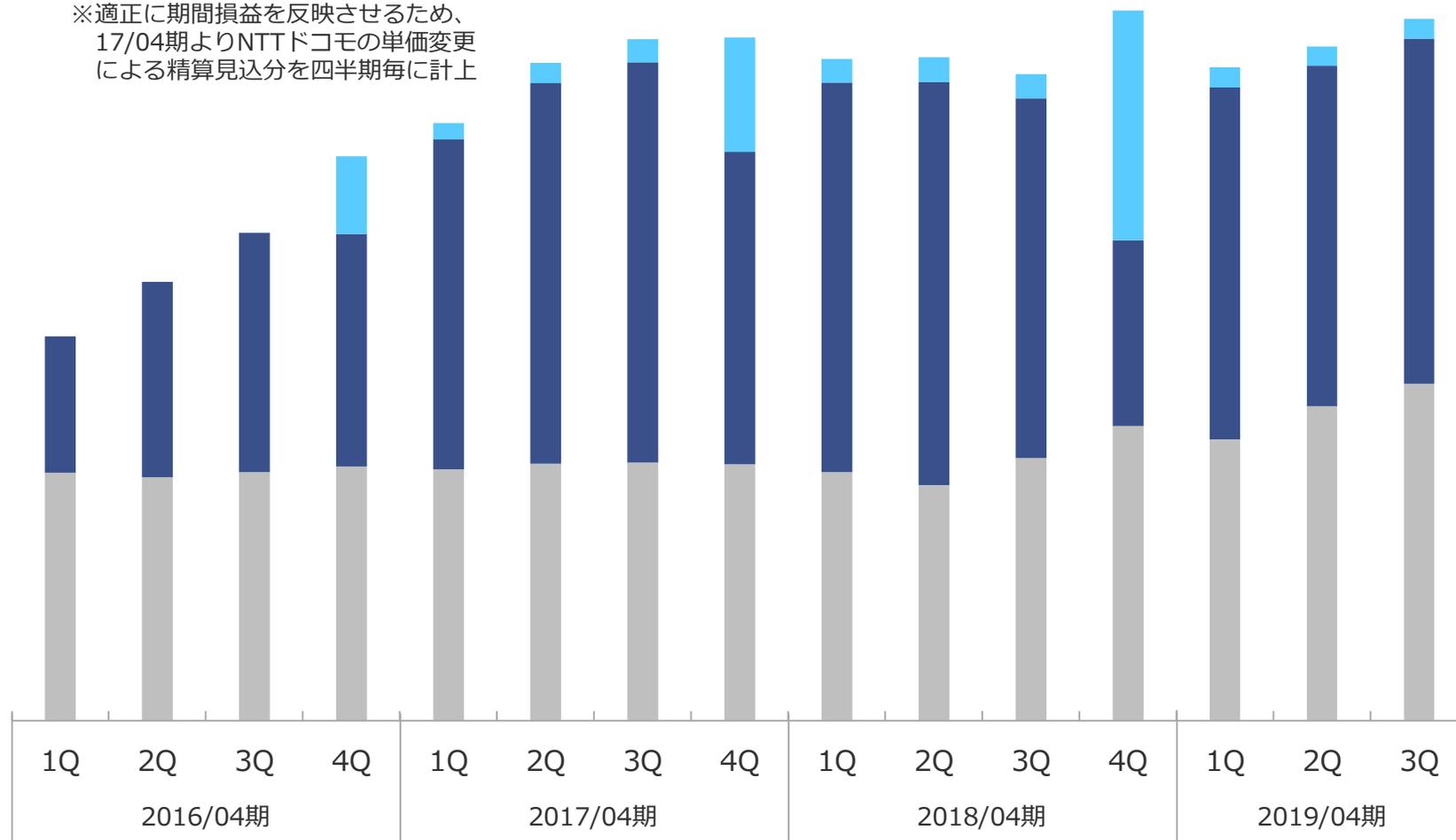
# ネットワーク関連費用推移

■ 固定網

■ モバイル

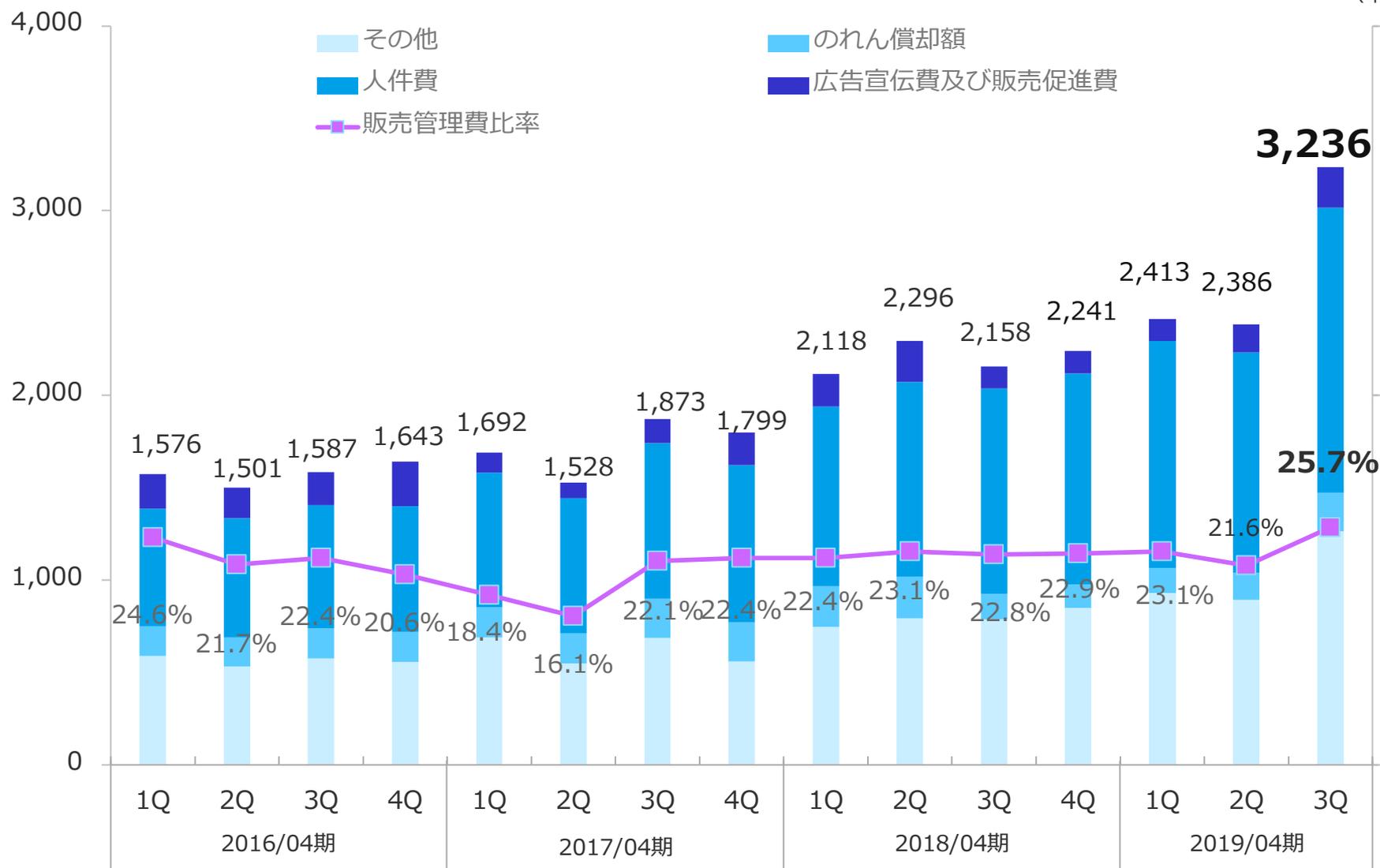
■ NTTドコモの単価変更による精算分

※適正に期間損益を反映させるため、  
17/04期よりNTTドコモの単価変更  
による精算見込分を四半期毎に計上



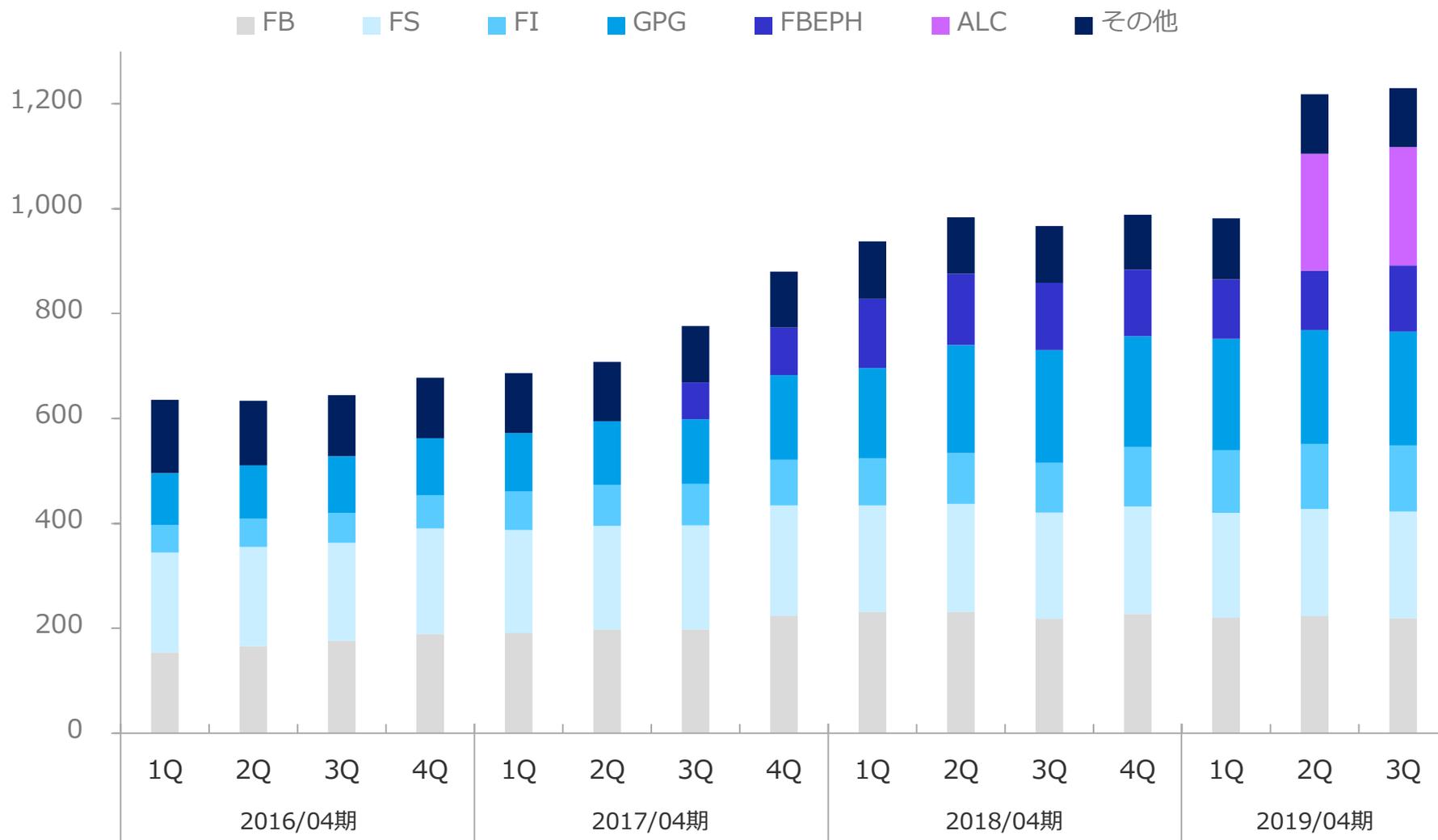
## アルクの連結子会社化により販管費が大幅増

(単位：百万円)

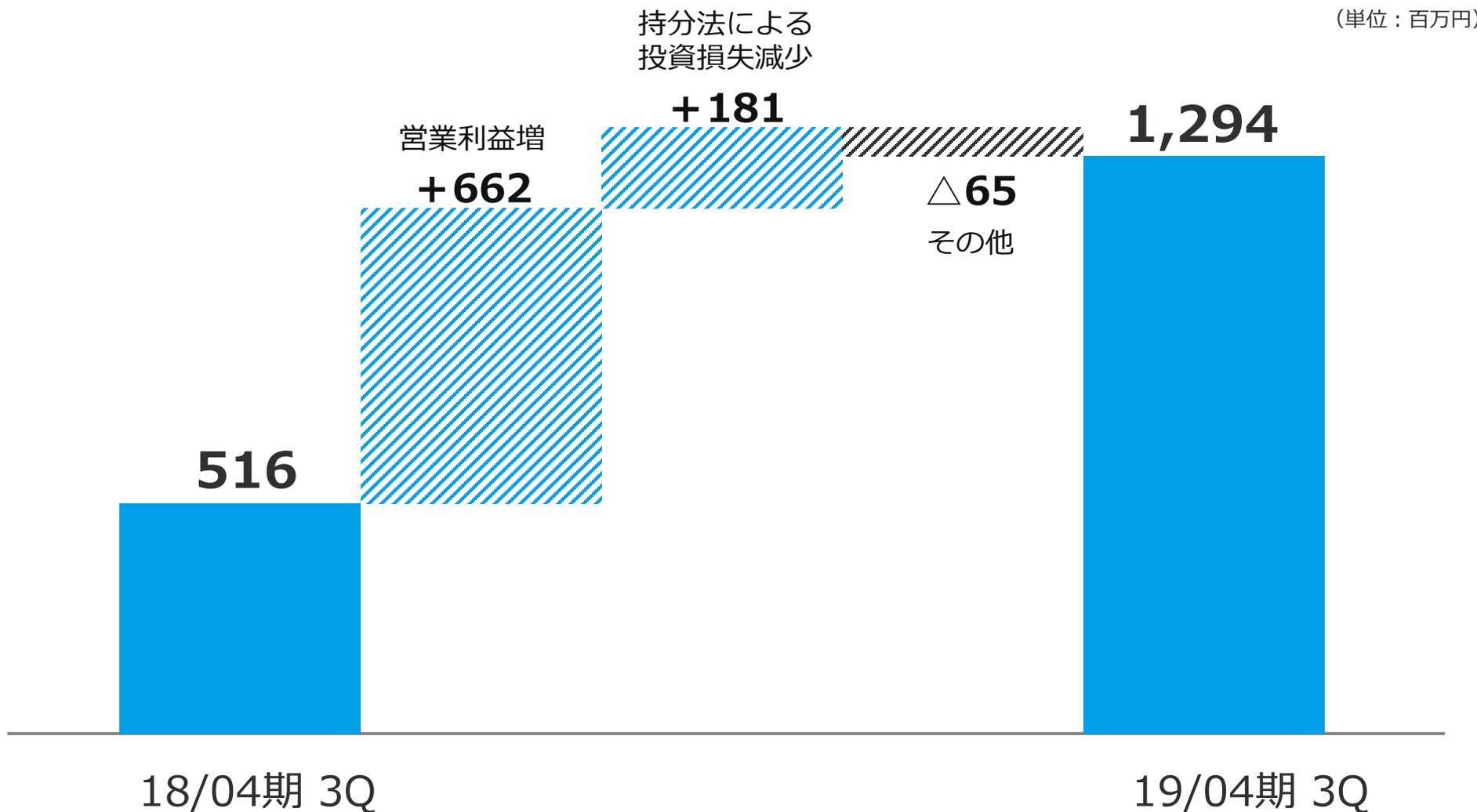


## アルクの連結子会社化により人員数増

(単位：人)

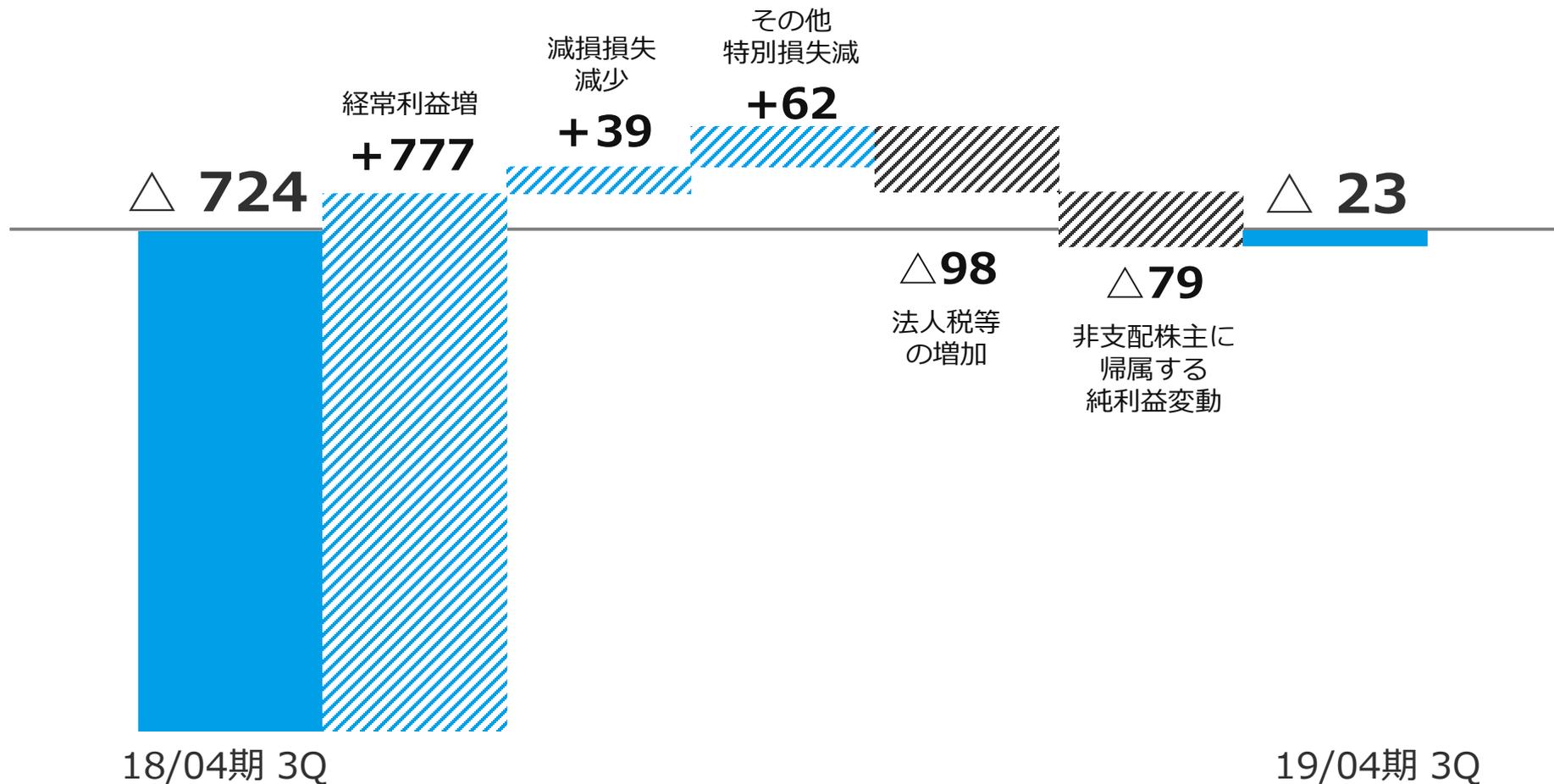


営業利益増及び持分法による投資損失減少等により前年同期比  
150.7%増



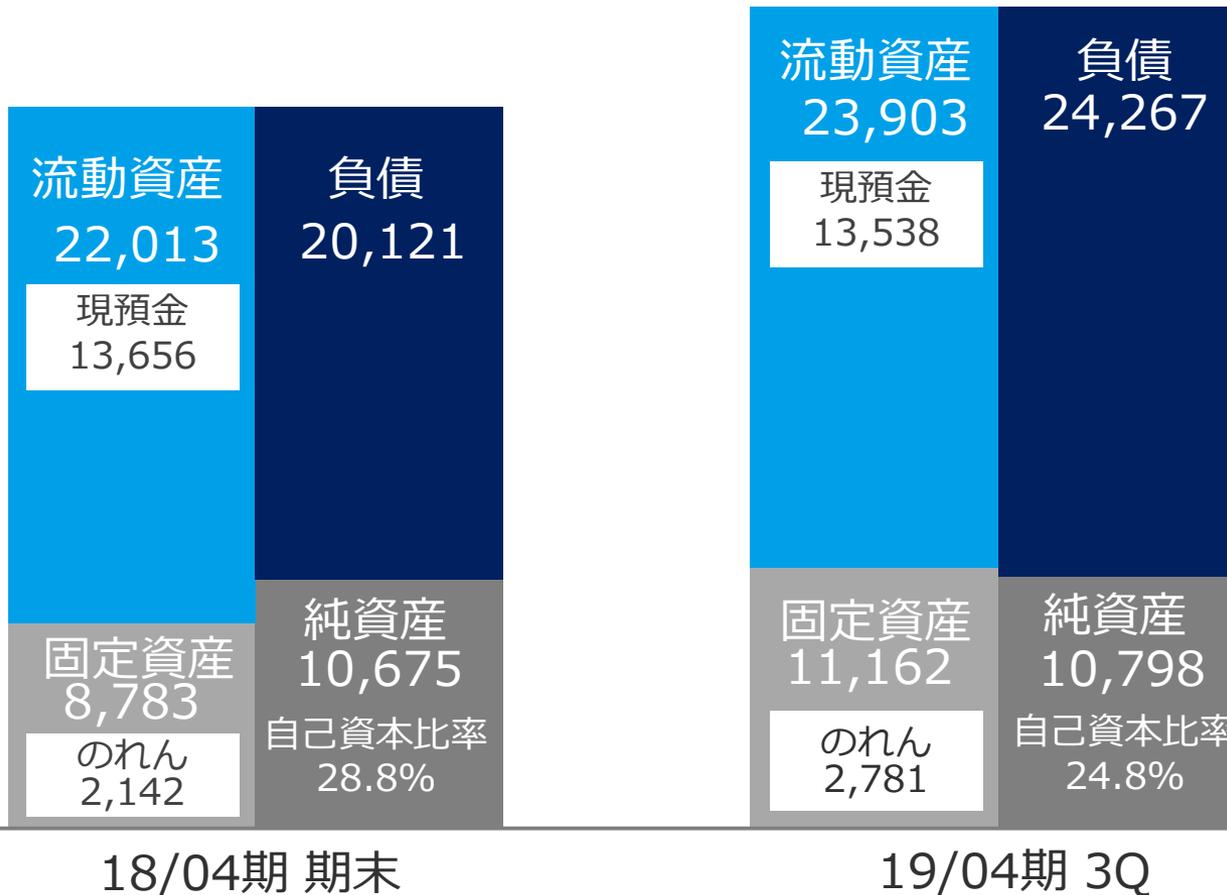
## 経常利益増等により前年同期比701百万円増

(単位：百万円)



2Qからアルクを連結したことにより、のれん29.8%増  
純資産1.2%増

(単位：百万円)



## 2. 2019年4月期 第3四半期セグメント別業績及び事業進捗

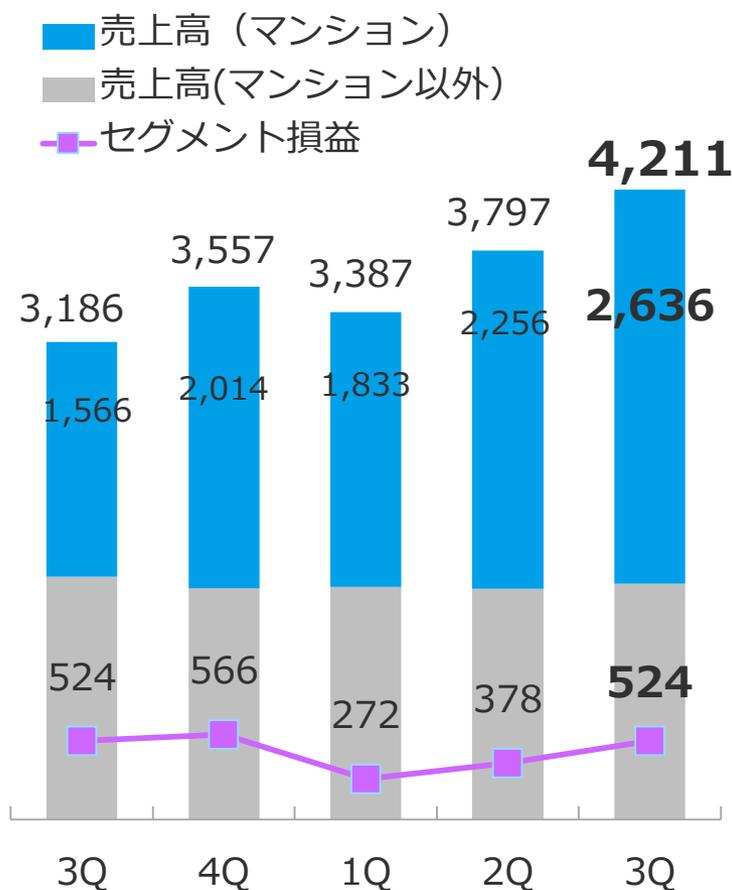
---

## 前年同期比 売上高29.0%増、セグメント損益18.5%減

マンションインターネットが順調に推移し増収、固定網の減少等により利益減

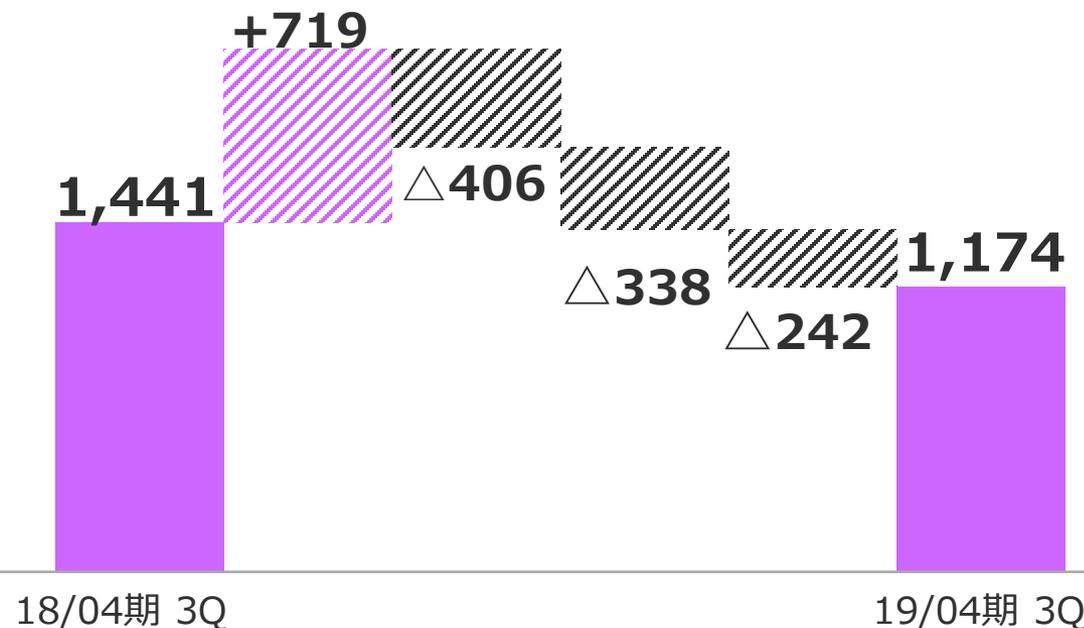
(単位：百万円)

### 売上高・セグメント損益



### セグメント損益前期比差異分析

- +719** マンションインターネット売上増
- $\Delta 406$  固定網売上減
- $\Delta 338$  GPG販管費増
- $\Delta 242$  その他

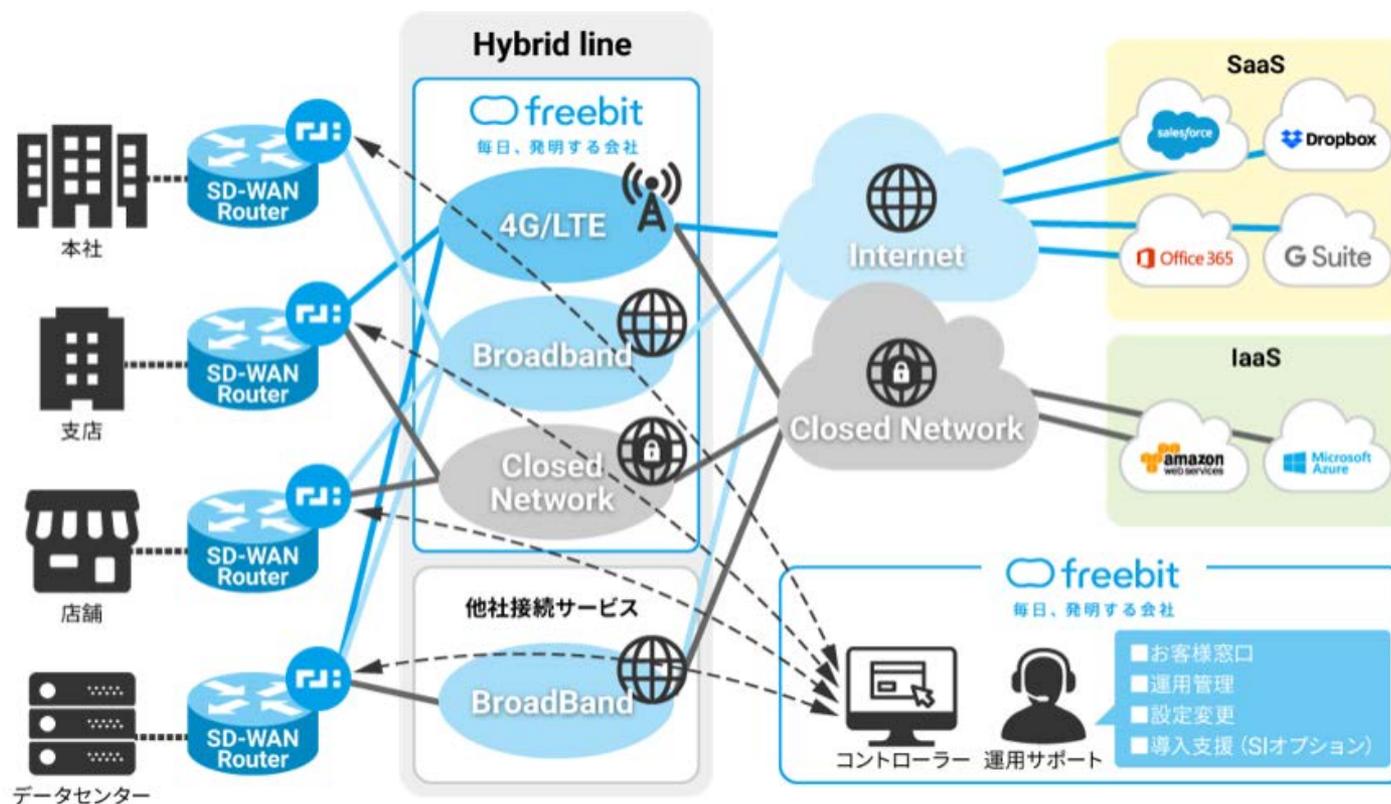




## 次世代型WANサービス「M-Plus! SD-WAN」を発表

アプリケーションレベルでのWAN効率化を可能にした次世代型WANサービス「M-Plus! SD-WAN」の提供を開始

サービス概要図



## サービス提供戸数は36.2万戸を突破し、今期修正予想40.6万戸に向けて順調に推移



## 事業基盤の強化に加え、更なる事業拡大に向けた取り組みを継続

### ■ 12月12日プレスリリース:ギガプライズ、社宅管理代行事業を開始

社宅管理代行事業に参入し、イオンモール株式会社の社宅代行事業を開始。初年度は約1,200件の代行業務を取り扱い、業務拡大を目指す

### ■ 1月31日プレスリリース:ギガネット for イオンハウジング サービス開始

(株)フォーメンバーズが行うイオンハウジング事業向けの集合住宅向けISPサービス「ギガネット for イオンハウジング」を2019年3月1日より開始

#### ■ 「ギガネット for イオンハウジング」提供イメージ

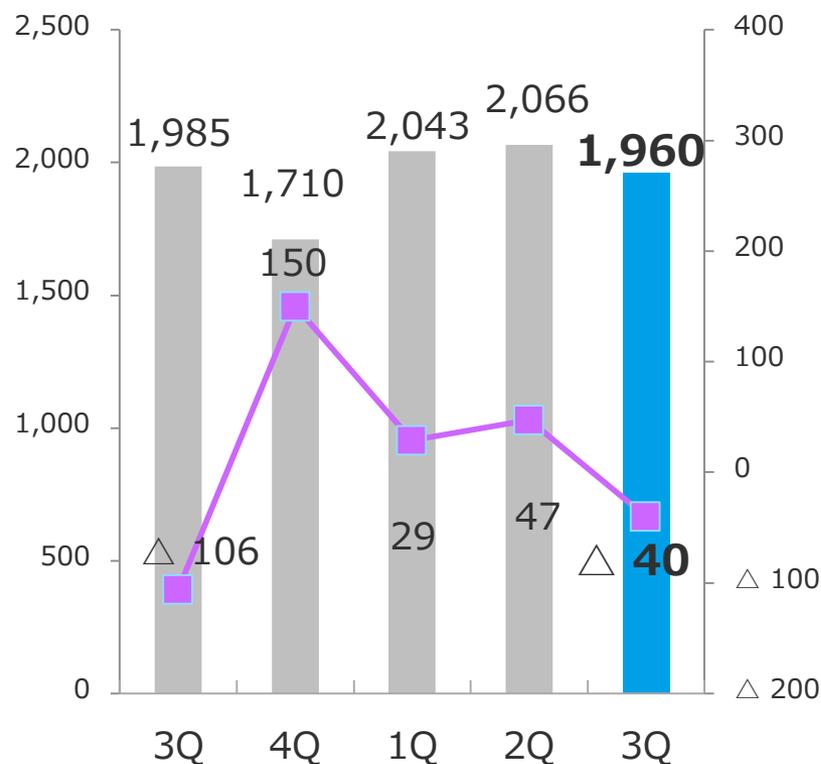


## MVNEサービス利益増やDTIの販促費抑制等により、前年同期比セグメント損益+454百万円を達成

(単位：百万円)

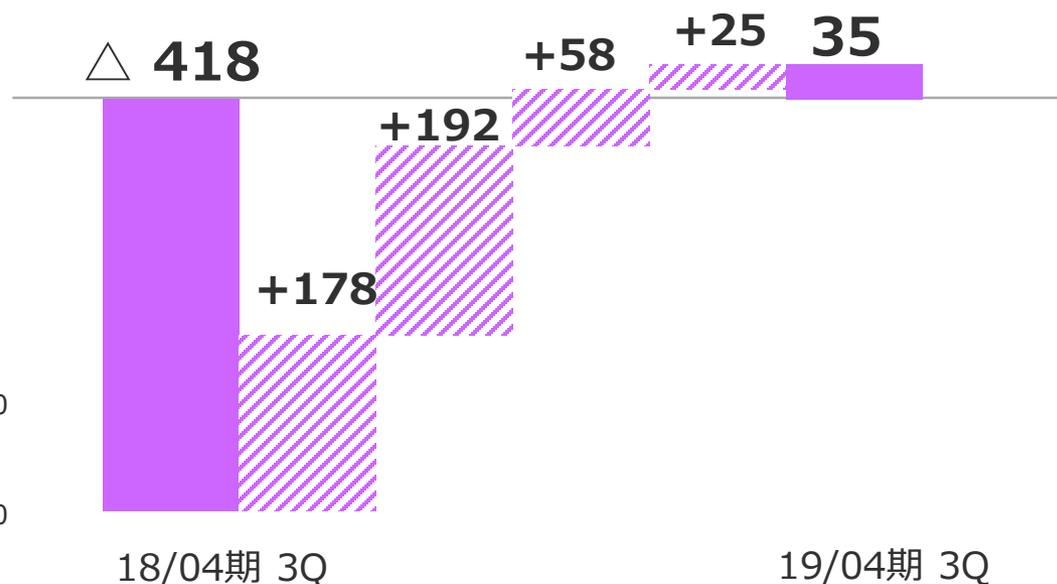
### 売上高・セグメント損益

■ 売上高 ■ セグメント損益



### セグメント損益前期比差異分析

- +178 MVNEサービス利益増
- +192 DTI販促費抑制等による利益増
- +58 FB配賦額減少による利益増
- +25 その他



トーンモバイル、新端末 TONE e19を3月1日より販売開始

## TONE e19 Simple but Great



**HD+**

5.93"



**32 GB**



## 前年同期比 売上高5.0%増、セグメント損益17.9%減

インキュベーション(新規事業・M&A)関連の体制強化により販管費増

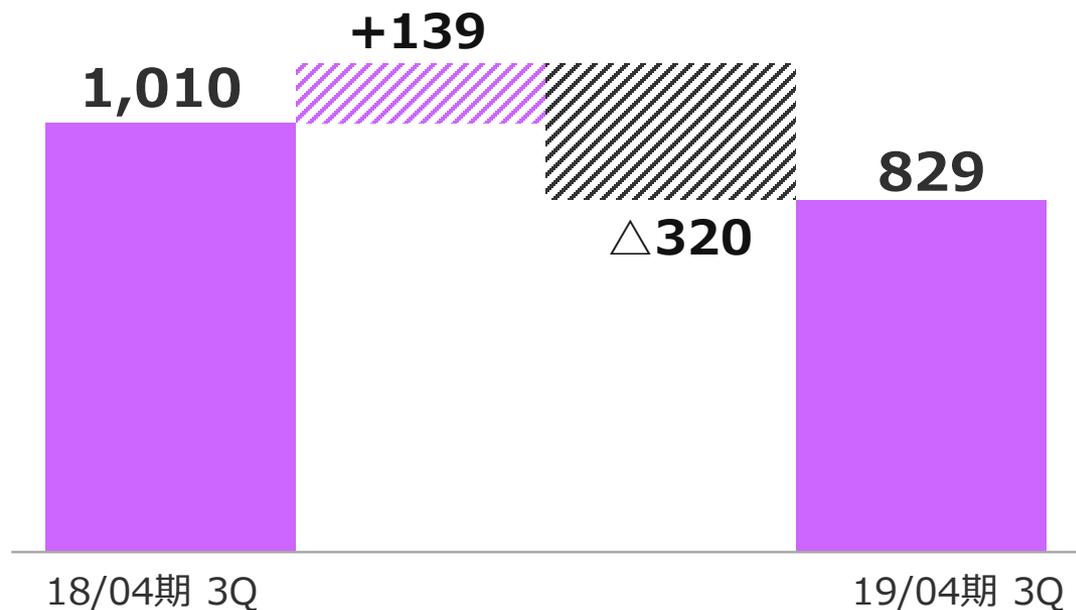
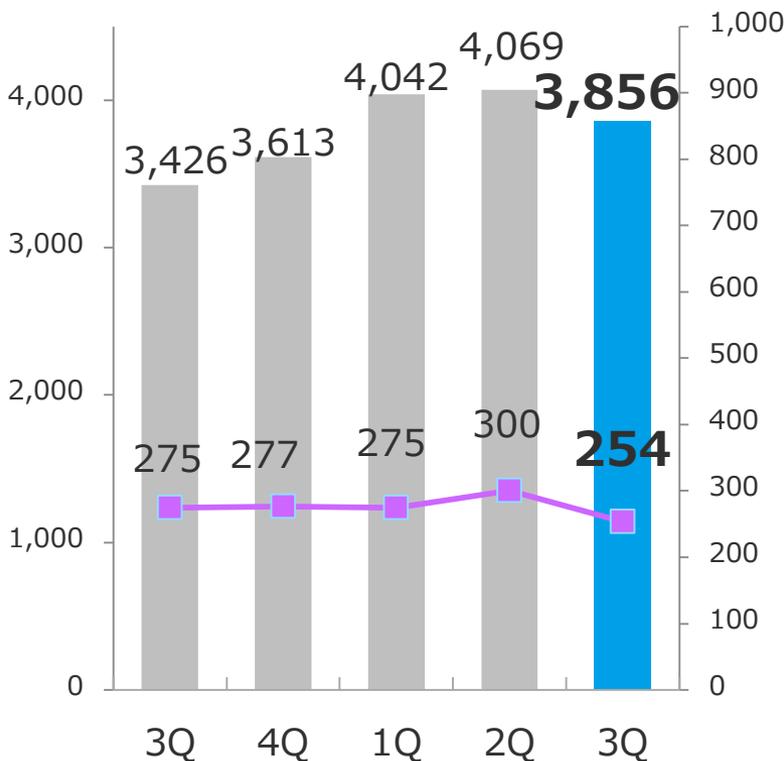
(単位：百万円)

### 売上高・セグメント損益

■ 売上高 ■ セグメント損益

### セグメント損益前期比差異分析

**+139** FSG売上増加に伴う粗利増  
**△320** FSG体制強化に伴う販管費増等



## 3月8日開示：通期業績予想の修正に関するお知らせ

各位

上場会社名 株式会社フルスピード  
 (コード番号:2159 東証二部)  
 本社所在地 東京都渋谷区円山町3番6号  
 代表者 代表取締役社長 友松 功一  
 問合せ先 取締役経営管理本部長 小宮山 雄己  
 電話番号 03-5728-4460 (代表)  
 (URL <http://www.fullspeed.co.jp/>)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成30年6月8日付で公表した、平成31年4月期通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

平成31年4月期通期連結業績予想数値の修正 (平成30年5月1日～平成31年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前発表予想 (A)	21,000	1,640	1,620	970	62.29
今回修正予想 (B)	20,200	1,200	1,140	620	39.81
増減額 (B-A)	△800	△440	△480	△350	
増減率 (%)	△3.8%	△26.8%	△29.6%	△36.0%	
(ご参考) 前期実績 (平成30年4月期)	19,040	1,347	1,341	498	32.04

業績予想修正の理由

連結業績における売上高については、アドテクノロジー事業における、検索アルゴリズム及びITPなどの市場環境の変化が想定より大きく、平成30年6月8日公表済みの連結業績予想値に対しては下回る見込みです。

また、利益につきましても、海外展開およびメディアを含む新規事業などのインキュベーション領域への先行投資などにより人材関連費等が増加し、およびアドテクノロジー事業に関する減損損失を反映したことにより、連結業績予想値を下回る見込みとなりましたので修正致します。

\*上記に記載した通期連結業績予想数値は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上

### Point 1

## 売上高

アドテクノロジー事業における、検索アルゴリズム及びITPの影響等の市場環境の変化が想定より大きく、平成30年6月8日公表済みの連結業績予想値を下回る見込み

### Point 2

## 営業利益/純利益

海外展開及びメディアを含む新規事業等のインキュベーション領域への先行投資等による人材関連費等の増加及びアドテクノロジー事業に関する減損損失の反映により、連結業績予想値を下回る見込み

ITP : Intelligent Tracking Prevention

## アジアNo.1のASPへ

アフィリエイト・プラットフォーム事業が順調に推移  
成長著しいアジアインターネット広告市場をターゲット

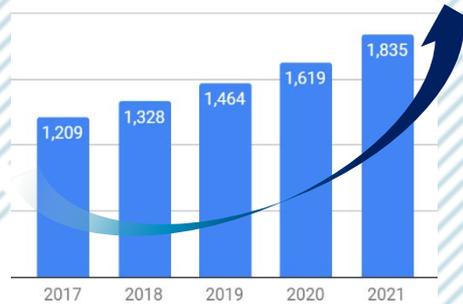


台湾

FORIT  
DIGITAL TAIWAN, INC.

2017年 約1,209億円

2021年 約**1,835**億円



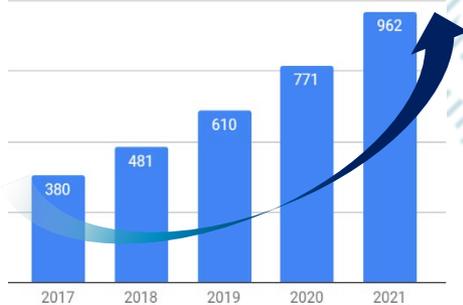
その他エリア  
近々展開予定



マレーシア

2017年 約308億円

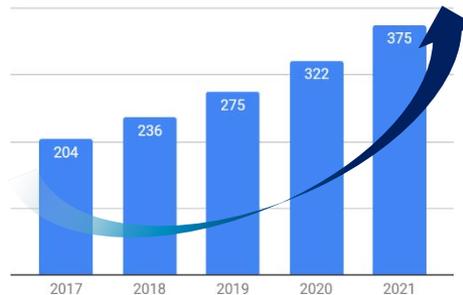
2021年 約**962**億円



シンガポール

2017年 約204億円

2021年 約**375**億円



出典：[www.statista.com](http://www.statista.com)よりフルスピード調べ 2019年のインターネット広告市場規模：1ドル111.37円（2019年2月末時点終値）

## 中堅企業の人材不足ソリューション

人材採用コンサルティングによる中長期的な企業における人材不足の解決を支援



### Googleしごと検索 最適化支援サービス

### 「Googleしごと検索」の最適化支援サービス

クライアントの状況に応じてたコンサルティングをし、「Googleしごと検索」への最適化から、求職者の応募者数増加、企業イメージ向上までの施策を実施

### Indeed運用コンサルティングサービス

Indeedを活用した採用活動のための広告運用と、求人ページならびに求人票の作成・更新業務などをワンストップで提供する「Indeedコンサルティングサービス」を開始

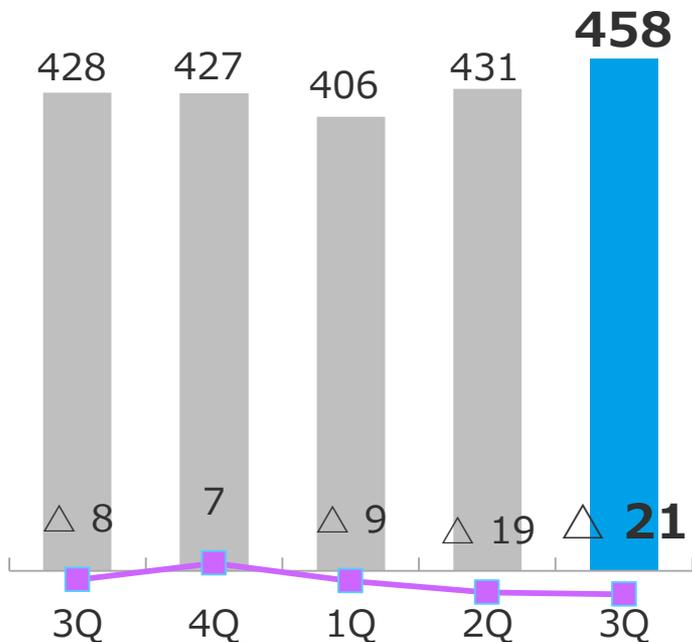


## レガシーサービス縮小に伴い減益

(単位：百万円)

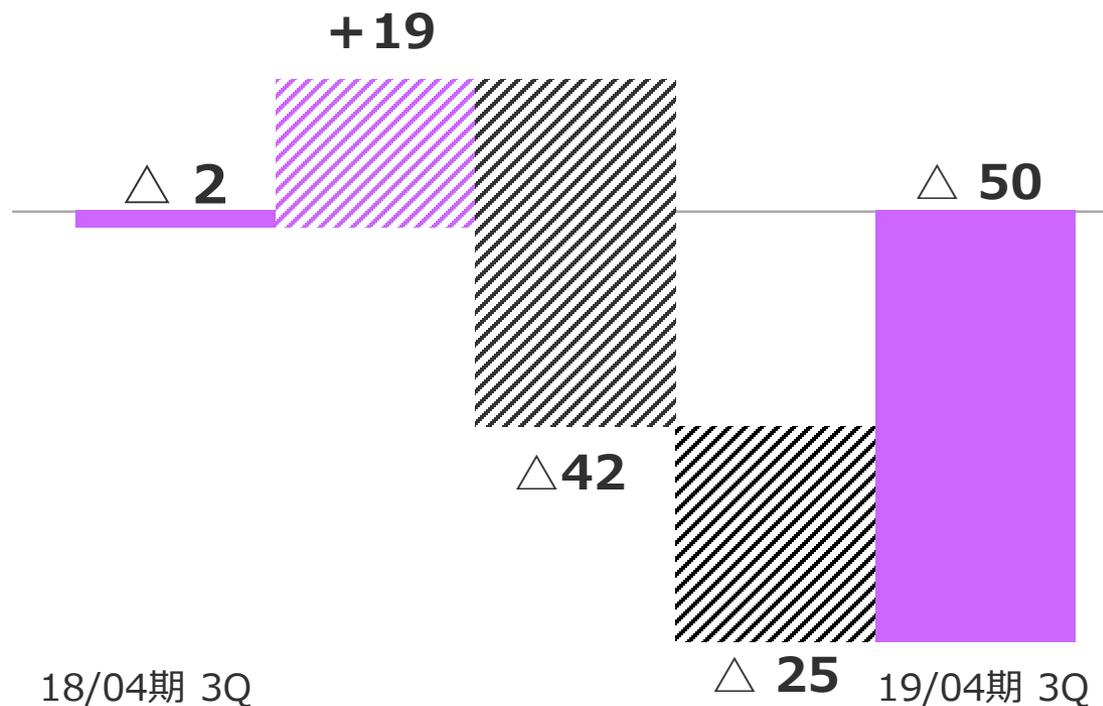
### 売上高・セグメント損益

■ 売上高 ■ セグメント損益



### セグメント損益前期比差異分析

- +19 FBコスト改善等による利益増
- △42 レガシーサービス縮小に伴う利益減
- △25 その他

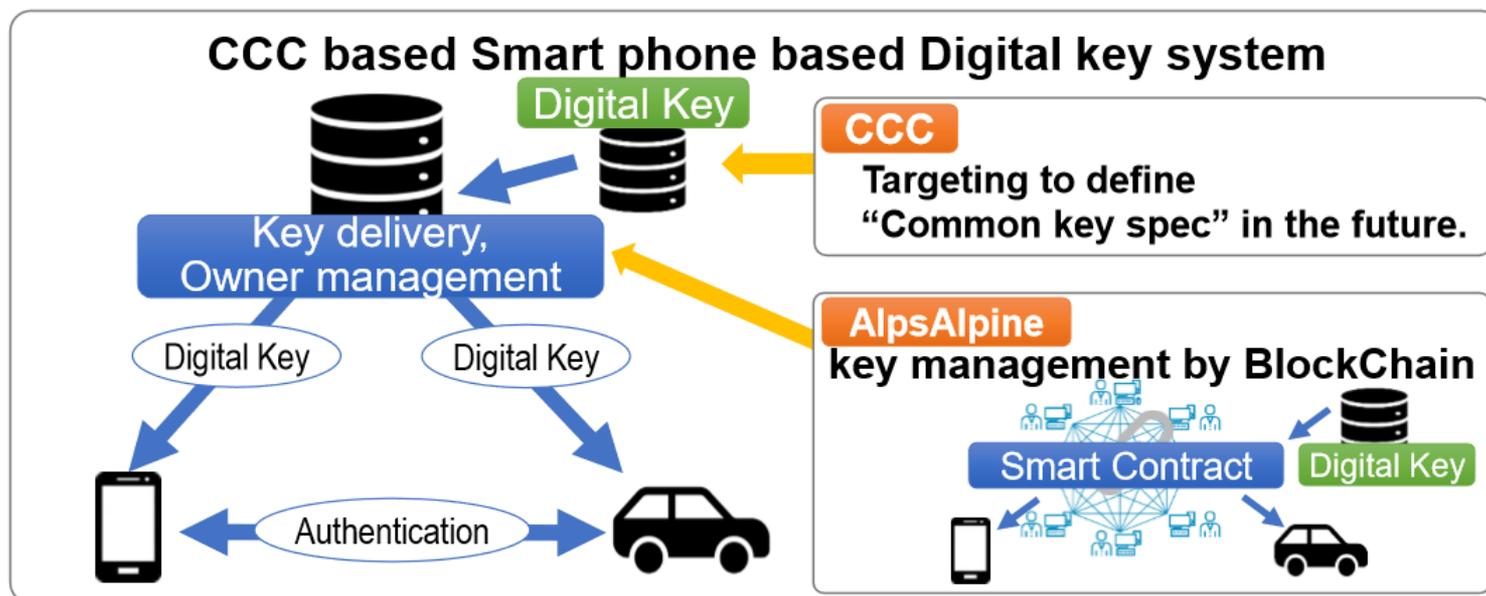


## ブロックチェーンを活用し、車業界の「安心安全&デジタル化」を推進

- 1月8日プレスリリース:ブロックチェーン技術を活用した「デジタルキー」基礎技術をアルパイン※と共同開発  
※ (現: アルプスアルパイン株式会社)



CES2019のアルプスアルパインブースで公開された概要図



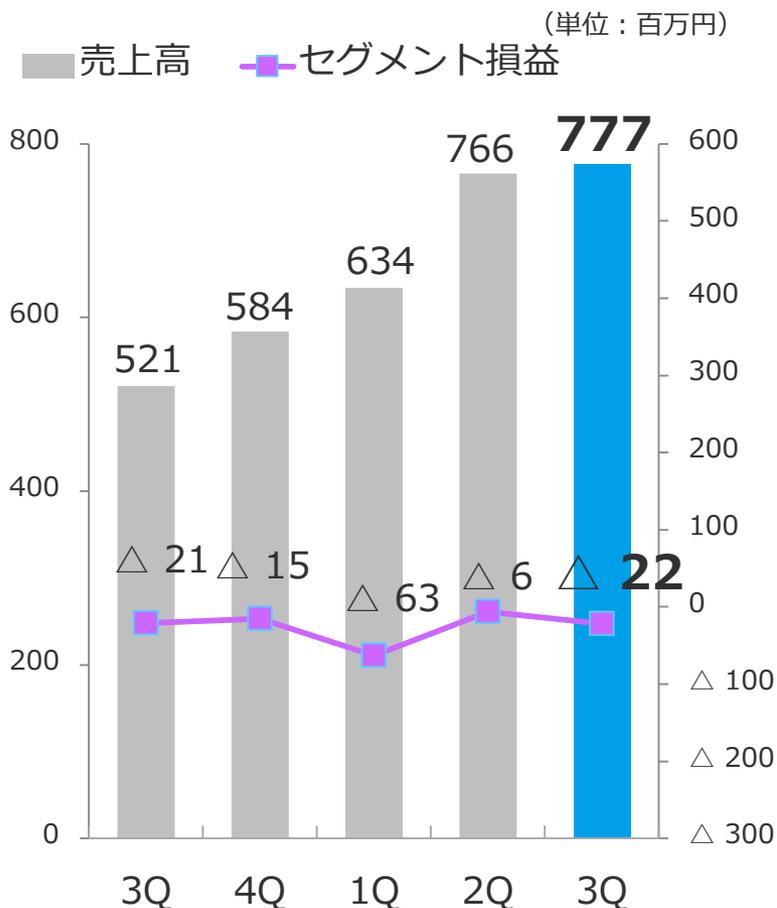
CCC : Car Connectivity Consortium

## FBEPHの成長により売上高は前年同期比107.2%増を達成

より一層の事業拡大を目指し、戦略的投資を継続

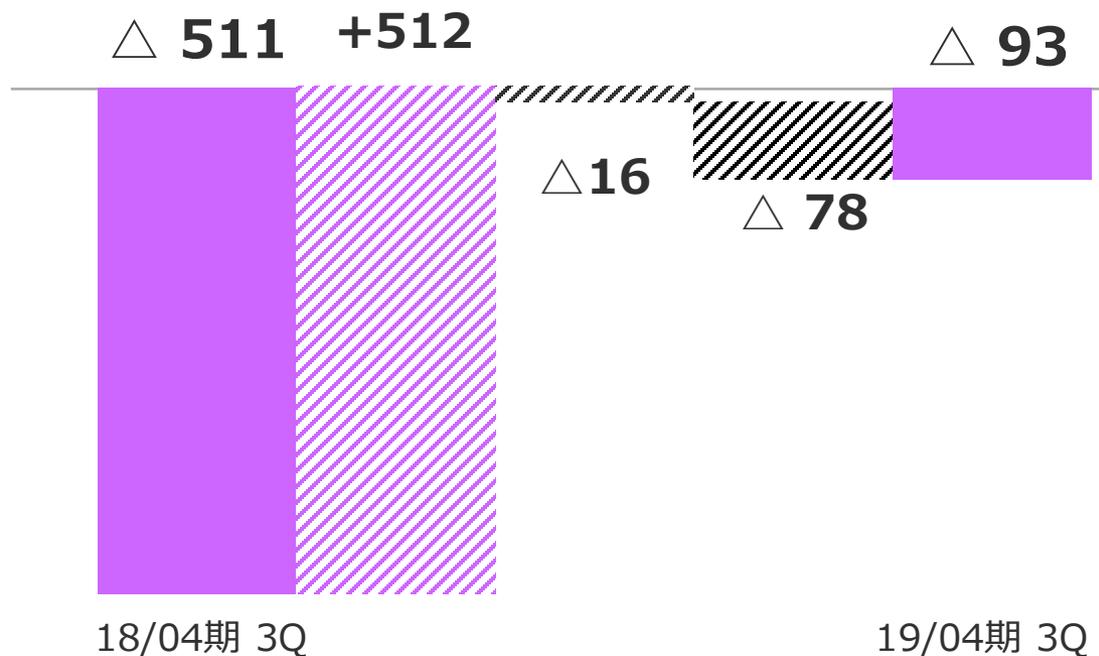
(単位：百万円)

### 売上高・セグメント損益



### セグメント損益前期比差異分析

- +512** FBEPH売上増加等に伴う粗利増
- $\Delta 16$  FBEPH体制強化に伴う販管費増等
- $\Delta 78$  その他



## 月間薬局予約件数は順調に推移



薬局 & ドラッグストア検索・予約サイト

### くすりの窓口コンテンツ

処方箋  
ネット受付



おくすり  
宅配予約



くすりの窓口  
クーポン



ジェネリック  
検索



### ファーマシーサポートの6つの機能

予約管理



お薬手帳管理



顧客管理



決済機能



経営支援



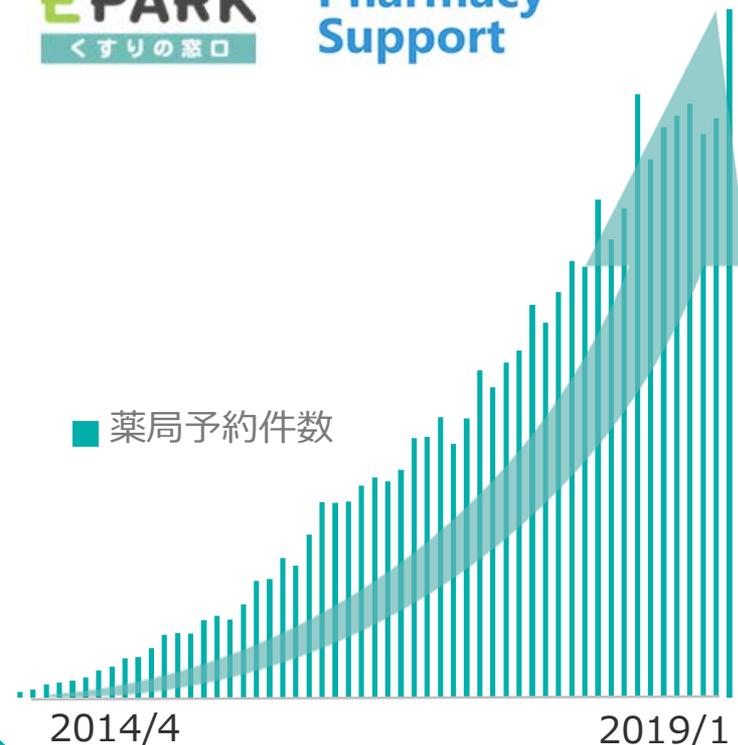
みんなの  
お薬箱



### 月間薬局予約件数



Pharmacy  
Support



## EPARKお薬手帳は累計ダウンロード数51万件を突破



### EPARKお薬手帳



アプリから  
調剤予約

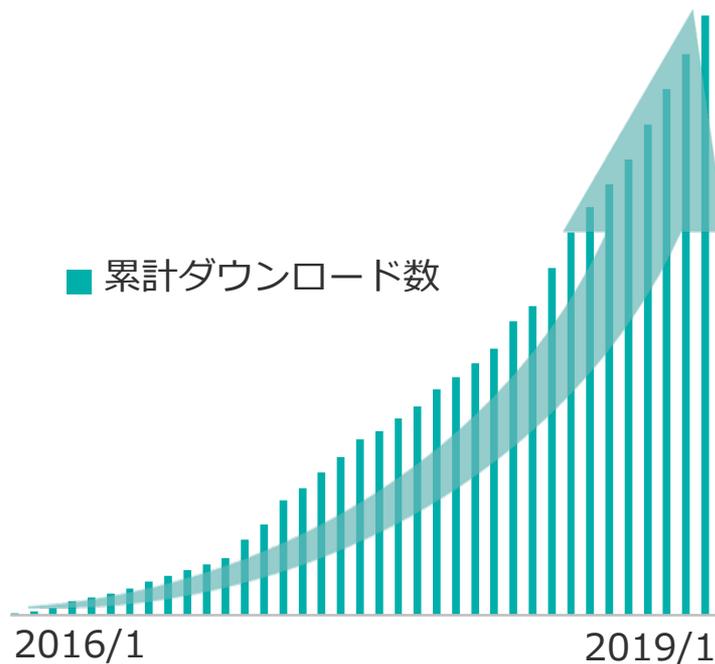
調剤薬局で  
待たずに  
受け取り

家族の薬も  
まとめて  
管理

お薬情報を  
いつでも  
みられる

### EPARKお薬手帳累計ダウンロード数

51万超



## 新報告セグメント「エドテック事業」を開始

今年創立50周年を迎えるアルクは、個人をはじめ企業や教育機関、自治体、語学指導者等に向けて多彩なサービスを展開。グループシナジーにより、更なる事業規模の拡大を目指す



 freebit

毎日、発明する会社  
ICT、クラウド活用

**Full Speed**

インターネットマーケティング

F O R I T 

アフィリエイト

 freebit

investment

投資、M&A

### 3. 2019年4月期 連結業績進捗

---

## ブロードバンド事業

### マンションインターネットの提供戸数増加と更なる売上拡大

- ・提供戸数、売上ともに順調に拡大

### 個人向けサービスのユーザー数拡大施策による売上・利益の拡大

- ・IPoE方式によるIPv6インターネット接続サービス「IPv6(IPoE)接続サービス」を促進

## モバイル事業

### MVNEの推進とシェア拡大

- ・トーンモバイル新端末「TONE e19」を開発。3月1日より販売開始

## アドテクノロジー事業

### アフィリエイト・プラットフォーム事業「afb」の海外展開を強化

- ・成長著しいアジアインターネット広告市場をターゲットに、台湾、マレーシア及びシンガポールで展開

### 今後の拡大を見据え、有望市場において新事業を展開

- ・Webを活用した採用活動全般に関する支援サービスの提供を開始

## クラウド事業

### 新サービスの事業化に向けて、基礎技術を開発

- ・アルプスアルパイン社とブロックチェーン技術を活用した「デジタルキー」の基礎技術を共同開発

## ヘルステック事業

### ヘルステック事業の黒字化に向けてサービスを拡大

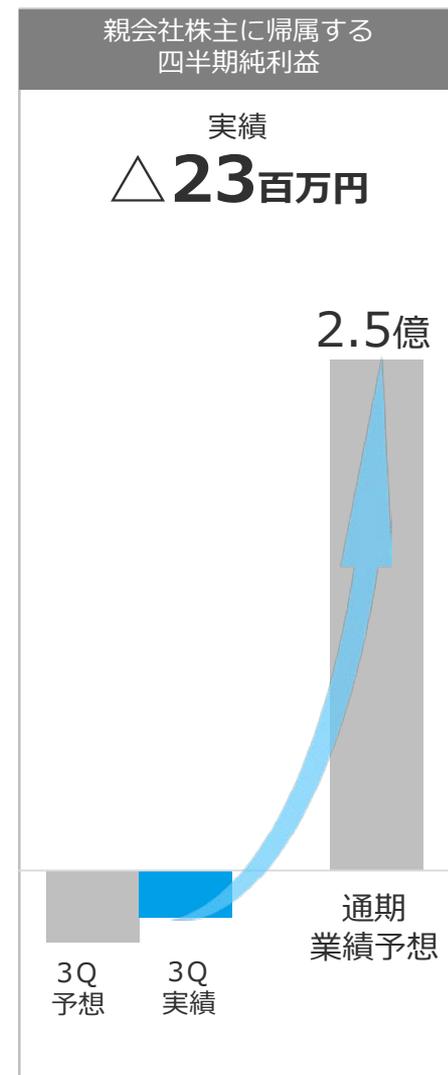
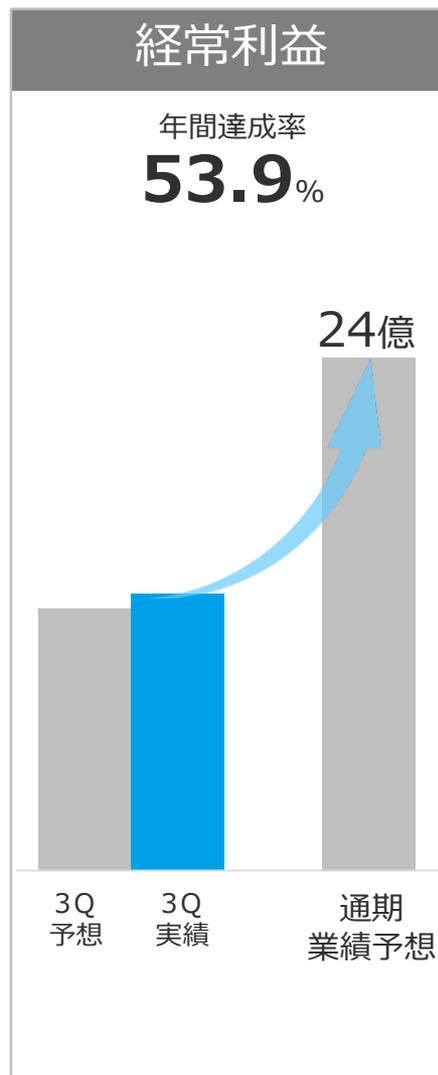
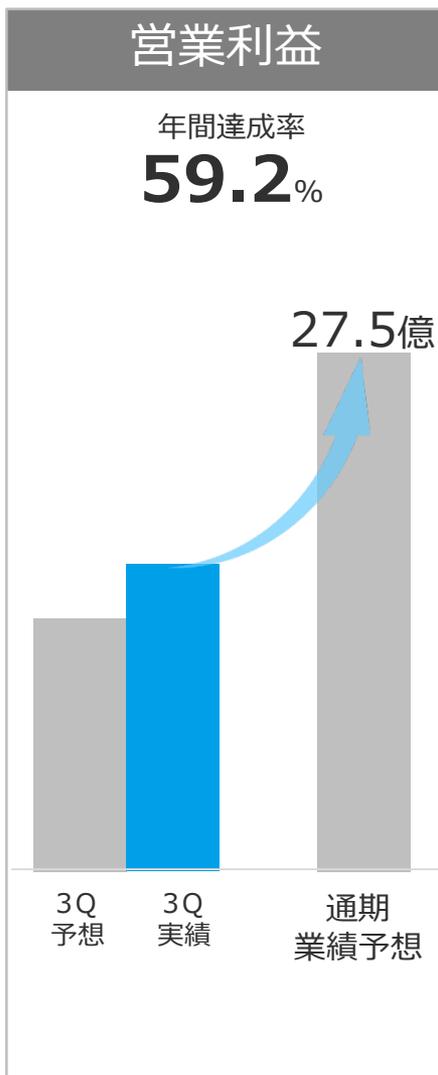
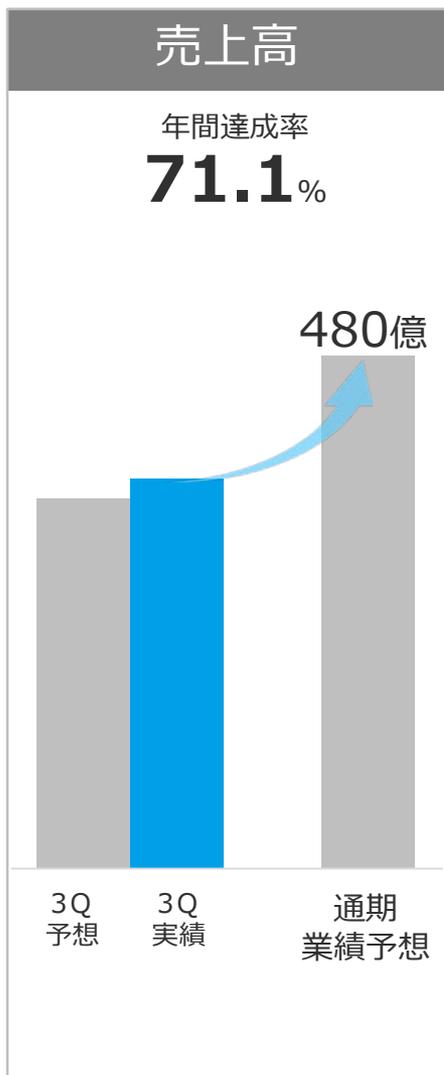
- ・EPARKお薬手帳のダウンロード数は前年同期比2倍強と大幅に増加

## エドテック事業

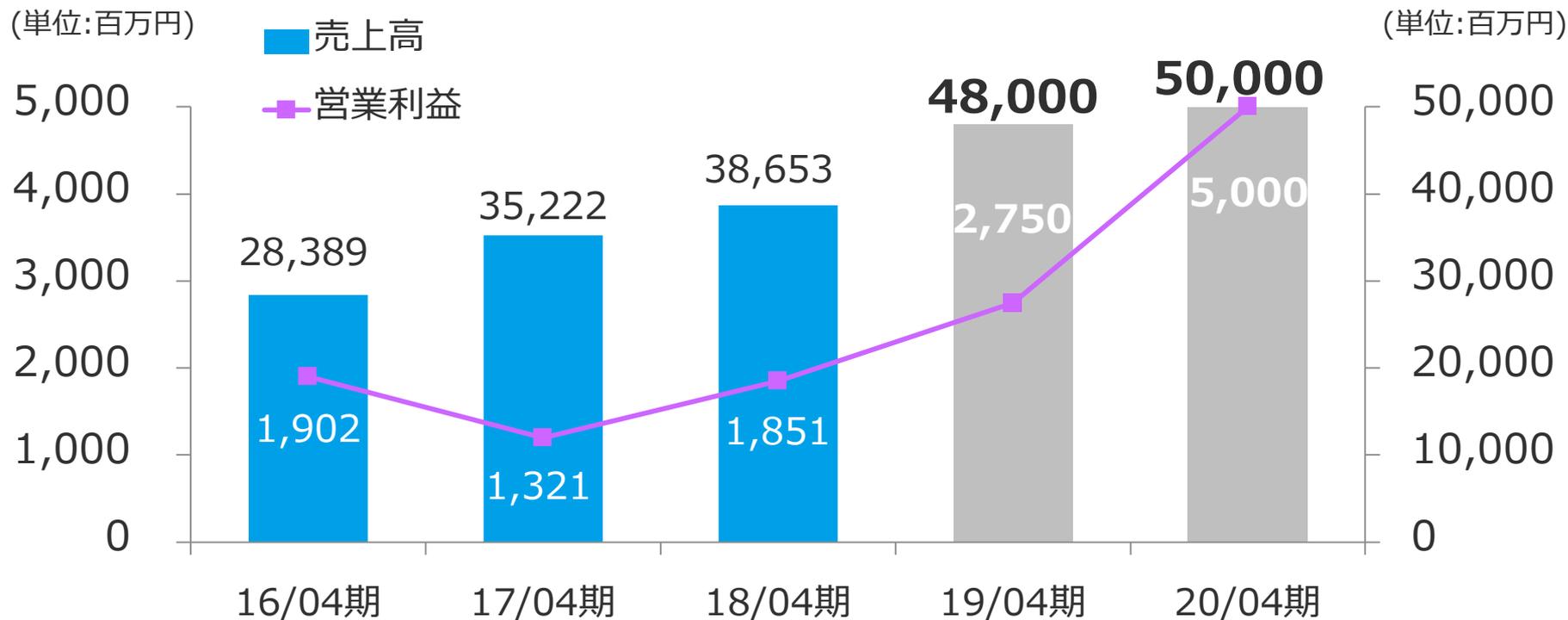
### エドテック事業開始

- ・グループシナジー創出に向けた検討

## 計画通り進捗



## フリービットグループ 2020年4月期業績目標 連結売上高**500億円**・連結営業利益**50億円**企業を目指す



本資料に記載されている当社の予想、見通し、目標、計画、戦略等の将来に関する記述は、本資料作成の時点で当社が合理的であると判断する情報に基づき、一定の前提（仮定）を用いており、種々の要因により、実際の業績はこれらの予想・目標等と大きく異なる可能性があります。本資料は、当社の事業戦略の説明資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

＜IR及び本資料に関するお問い合わせ＞

フリービット株式会社  
グループ経営管理本部 IR担当  
Email [freebit-ir@freebit.net](mailto:freebit-ir@freebit.net)  
WEB <https://freebit.com/>



毎日、発明する会社

※ すべてのブランド、製品名、会社名、商標、サービスマークは各社に権利が帰属します。